

温かな出会いに囲まれた空間を大切に ～だれにも負けない大三島愛～



加島 愛さん・誠也さん

【プロフィール】

広島県出身（誠也さん）

大三島出身（愛さん）

2016年9月に移住。

【お店紹介】

『きつねのぼたん（創作居酒屋）』

営業 昼12時～なくなり次第

夜19時～23時

定休日 木曜、不定休あり

大三島でお店を始める前は、広島で飲食とプライダグ関係の仕事をそれぞれしていました。結婚後は、愛さんに強い大三島愛があり、いずれは大三島に住もうという話をしていました。いつかは自分の店を持ちたいという思いもあり、それならば早い方がいいと考え、思い切って大三島に住むことにしました。

2016年の9月に大三島へ来たのですが、その1年程前から店舗開業に向けての準備を進めました。島の多くの方の協力を得て、2016年11月にお店をオープンすることができました。「きつねのぼたん」は草花の名前で、その花言葉には“恵まれた生活”という意味があります。すべての植物がそうであるように地元に根づきたい、そして、「きつねのぼたん」の花言葉のように地域の人やお客さんに恵まれるお店にしたいという思いからお店の名前を「きつねのぼたん」にしました。

メニューを考えているのは誠也さんで、他の店にはないオンリーワンの料理を心掛けて作るようにしています。中でも揚げだしトマトは反響が大きかったです。料理の基本も大切で、数多くのレシピ本が販売されていますが、作る人が違えば本に載っている料理と同じものにはなりません。これからも、「きつねのぼたん」でしか食べられない、自分らしい料理を自信を持って作り続けたいです。

お店を営んでいて、地域の方やお客さんと様々な話をしている関係を築いていきたいと思うようになりました。また、お店を営んでいることで、地元の子どもたちとも関わられることを嬉しく感じます。地元の子ども達が大人になってお酒を飲みに戻ってきてくれることが願いです。

大三島の好きなどころは、海や星などの目に見える豊かな自然はもちろん、人が温かくつながりが深く強いところです。お店の前に野菜が置かれていたこともありました。

休みの日はつながりの旅をしています。お店に来て仲良くなったお客さんのお店や家に行って親交を深めています。また、買い出しの時に珍しい食材や食べ物を見るとつい買ってしまいます。このような島での生活を楽しみながら行っています。

【移住を考える人へ】

島には島のルールがあるのでそれをきちんと守り、移住者の方から歩み寄る気持ち持つことも大切です。私たち自身も島の人に受け入れてもらうには時間が少しかかりました。

